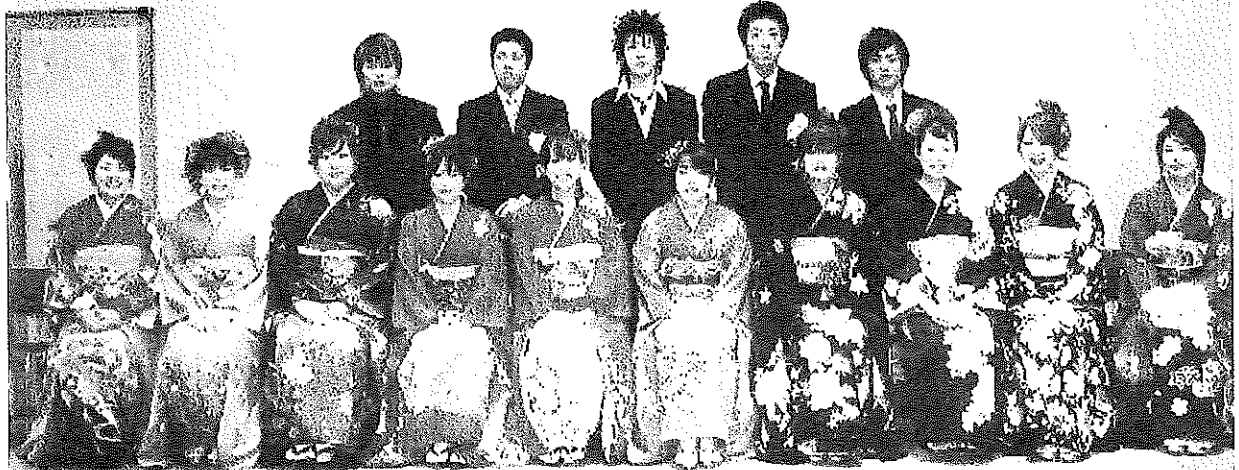


八乙女



祝 成 人



新雪に八乙女山の美しき

林 外吉



おもいよこしまなし
『思無邪』

南砺市市議會議員 才川 昌一

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで、清々しく新春をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。

昨年、南砺市では、豪雪に始まり、地滑り災害等も起りましたが、全国市町村交流レガッタ大会や日露フォーラムなど全国的な大会も多く開催された。また、南砺市の文化や芸能の奥深さを再確認した年だったと思います。

今年、南砺市において総合計画の基本構想もまとまり、『さきがけて 緑の里から 世界へ』のキャッチフレーズのもとに、基本計画・実施計画を順次進めていくところです。また、夏には四年に一度の国際木彫刻キャンプが大門川河川公園を中心に開催される予定であり、国内外の彫刻家を招聘し、その製作過程を身近に感じながら、自然・文化・交流が織り成されることに期待したいものです。

いずれにしても、地方を取り巻く環境が厳しさを増す中、創意と工夫を凝らし、少しでも夢と希望のもと、新生南砺市にするために、知恵を出しながら次世代に責任の持てる施策を進めていきたいものです。

詩経に

『詩三百、一言を以て之を蔽う、曰く、思無邪』

そのような気持ちを年頭にあたり思いながら、今年一年過ごしていきたいと考えております。

今年も、皆様にとりましてご健勝でござ幸でありますよう、ご祈念申し上げます。

亥年の新年を迎えて



僕の決意

青山 虹
(平成7年生)



僕は、スポーツ少年団で剣道をやっていました。

す。井波は、昨年県で一位になりました。今年からは、新しいチームで県や全国大会にいどまなげばいけないので、今のうちに、今までのいろんな事を教えてくれた六年生や先生方に、感謝して練習にかかっていきたいです。僕はしっかりとした行動をとり、チームをしっかりとまとめて、団体戦でも個人戦でも優勝して全国大会に行きたいです。そして、今年から自分の剣道をずっと続けていって、大

人になるまでにどんどん磨いて行きたいと思っています。

今後生きていく中で……

澤田 博史
(昭和58年生)



今後の生きていく中で、抱負は、まず第一

に『健康第一』、これがなければ何も始まりません。二年前・去年は体調管理に苦労し、病院に何度も通院しましたが、今年はや安定した体調を保って行きたいです。次に『社会人としての自覚と責任をもつ』もう社会人となり二年半ほどになります。だいが仕事にも慣れてきて自分の仕事も持っています。今の現状で満足しないで、新

たなことにどんどんチャレンジして行きたいと思っています。そしてしっかりとした職業人としての行動を心がけたいです。最後に『体を鍛える』。今は若干、運動不足で、学生だったころについた筋肉も落ちて、体が細くなつてしまいました。全体的にもう少し筋肉をつけがっしりとした体にして、少しずつ引き締めにかかりたいと思います。

要約すると、『心・技・体』をバランスよく充実させる。ということがこの後の生きていく中で求められることでしょうか。

今後、どんなことに関してもし一生懸命やって、周りの人に感謝し、後悔しないように生きて行きたいです。

健康

横江 勝
(昭和46年生)



早三度の亥年を迎えたとつくづく感じま

す。これまで大きな怪我、病気もせず生活を送れた事に、まず感謝をしています。子をもち、親となり、分かりましたが、子供はよく病氣

になります。自分自信もそうだったのだろうなと思うと、人の親となつて改めて両親に感謝の気持ちになりました。最近も家族の者が病氣になりましたが、家族全員協力をし、乗り切りました。これからも一層健康に気を付けながら、この地の自然・交流を大事にし、我が子に引き継いで行きたいと思っています。

日一日を大切に

富田 利道
(昭和34年生)



まだまだだ若いと思つていました。四度目の

亥年を迎えました。家庭と職場の往復の日々、それなりに無我夢中で頑張つてきましたが、気がつけば、それぞれにおいて頼られる立場となりました。改めて家族や職場・地域の多くの方々を支えていただいたお陰と感謝しています。

平準化・効率化の波の中、地域も社会も大きく変わろうとしています。人と人とのつながりは失いたくないものです。小さな自分に何ができるのか、視野を広く持ち、日

一日を大切に送りたいと思います。

切磋琢磨

吉田 均
(昭和34年生)



家族や地域の皆さんに支えられながら、こ

うして四回目の亥年を迎えられたことをとても感謝しています。

私は日々家を作る仕事をしていきます。年を経ることにその建てた数も増え、今ではその一つ一つが自分の歩んできた足跡なのかなと思えるようになりました。そして、そこで出会った施主の方々是我的大切な財産となっています。大地にしっかりと自分の手懸けた物を残せる喜びを胸に、出会いを大切にして、これからも地域や少しでも多くの人々の役に立てよう切磋琢磨していこうと思つていきます。

見果てぬ夢

前田 敏美
(昭和34年生)

八乙女山からの柔らかな息



吹を感じながら母の大地に嫁いできて、早、新しい家

庭を迎えることも出来て忙しさも増してきました。

地域の先輩の方々やサークルやアドバイスを吸収させて頂き、仲間の協力もあって大会の出場を目指したり、知らない所へ出かけたたり、文化に触れたりしながら「柳は緑、花は紅」のごとく、私は私の人生のカラーを持ちながら、これからも夢を持ち続けて行きたいと思えます。

♡小さな夢からスタートしてみようっとな...

おかげさまで

篠原勇吉 (昭和22年生)



年が明けて五回目の年男となりま

した。団塊の世代が色々な意味で注目されております。

また今日まで色々な出会いがあり、また経験した事が思い巡って来ます。この六十年を考えると、お陰様で

家族はもちろんの事、地区・地域・会社関係の出会いで様々なご協力ご指導を受け、今日まで過ぎていたいただきました。

子供達も世帯を持ち、親としての役割も一段落しました。新たなスタートとし、年頭にあたり今後も「おかげさまで」の気持ちをもって、新たな出会いを求め、時には振り返り見つめ直し人生道を歩みたいと思っております。

自分らしく

直江喜美代 (昭和22年生)



還暦、この言葉は他人事と思っております、新

年を迎えてもまだ六十才の少し前、そんな気持ちです。でも鏡に写る人は...年輪を重ねた顔何よりも体力の衰えをつくづく感じている昨今です。

一方、職場ではまだまだ頑張れる/自分を必要として頂ける間は頑張ろう、そして楽しく働こうと勤務しています。私達は団塊世代と騒がれておりますが、いつまでも自分らしく生きて行こうと思えます。人には平等に四季や幸運がめぐって来る。下を向い

ていたら、せつかくの春や幸運を見逃してしまふ。凛として生きたい。

自分探しの年に

箭原強 (昭和22年生)



猪突猛進ひたすら走り続けて、気が付けば

暦は巡って還暦を迎えていたという思いです。

暦と同じくして、新たな一歩を踏み出したい気持ちはありますが、職場で現役としてまだ一年余りあるのでこれを頑張ることに、還暦という節目の年なので、自分は何をしたいのか、今までの自分はどうかだったのかを振り返りながら、自分探しの年にしたいと思います。

出会いと感謝

狩野幸夫 (昭和10年生)



戦時中の食糧不足の時代に生を受け、早六

回目の亥の新年を迎える事は、家族そして周りの皆様方のお陰と喜んでおります。

永い間勤めてまいりました関係で色々な方々と出会う事ができ、私の人生においての糧となっております。

今後は、今まで出来なかつた事にもチャレンジし、残された人生の一日一日を大切に、感謝の気持ちを忘れず毎日を通していききたいと思

命大切に

前川久子 (大正12年生)



大正、昭和、平成と昔を忘れる程の命を重

ねて、ここに亥年を迎えさせて頂き有難く喜んでおります。農業一途、水に悩まされ鎌と仲良し。今は遠くまほろし。波々とした田を眺め、皆々様のご苦労された事に深く感謝で一杯です。

今の幸せを忘れず感謝し、福祉ふれあいサロン、地域いきいきサロンに寄せて頂き友達と楽しんでおります。一日一日を大切に家族共々明るく送りたいたいと思

今までを振り返って

松倉年夫 (大正12年生)



大正に生まれ、昭和、平成と七回

目を過すことが出来ました。今まで病気もせずここまで来ましたのも、ご神仏と皆様のお陰と心からお礼申し上げます。

昭和二十年八月十六日天皇陛下のお言葉で終戦となり、その後食糧不足、増産に一生懸命でした。牛馬で耕運、人手で田植えし、鎌での刈取り、天日乾、今は基盤整備で水田も大きく農業機械も大型になりました。然し、飽食の時代のために生産調整、後継者不在等、この困難な時期、皆様に迷惑を掛けられないように、何時見ても変わらない八乙女山を見て健康でありたいと思

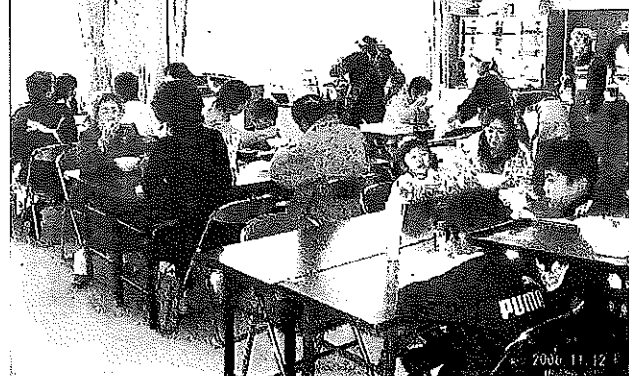


第29回八乙女文化祭が十一月十二日に開催されました。朝から冷たい雨の降るあいにくの天候でしたが、公民館前では壮年部・青年部の模擬店、グラウンドではマレットゴルフ大会、特設ステージでの生ライブがありました。館内では各種団体の活動報告、作品展示があり、子供達の作ったカラフルなコーンスター等がありました。

また、婦人会、たんぼ学級の出店、あたたかいうどん、喫茶、お茶席等で賑わっていました。体育館の特設ステージでは、可愛い園児らの発表から始まり、各地区児童が考え、一生懸命練習してきた出し物、各種グループの踊りや大正琴、八乙女龍神のよさこい等があり、南砺市交通安全協会のしゃくなげ劇団によるお年寄りの交通事故防止等今年の世相が表れる発表もありました。

気温が低く寒い日でしたがそれに負けない位熱く、内容も盛り沢山で楽しい一日でした。

(児童クラブ)



第29回 八乙女文化祭





第35回井波地域体育祭



市町村合併を機会に、必要性の有無について種々の意見がある井波地域体育祭……。今回は、競技内容を大幅に変更・削減し、半日という形で開催されました。井波地域（旧井波町）の伝統ある行事であり、市町村合併後の協調を守るため、是非共続けた大切な行事……と言うことでありますが、内容よりまず、存続ありきという状態が本当に良いのか、疑問は残ります。今回の体育祭は、この状況を表したような空の下で始まり、開会当初から降り出した雨は結局止むことなく、最終種目の綱引きを残し、打ち切り（体育祭は成立）となりました。

今回は、監督という立場で参加いたしました。役目も十分に果たせませんでした。選手、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。それでも、参加いただいた選手の皆様への活躍のおかげで、南山見地区の成績は三位でありました。ご協力本当にありがとうございました。

監督 蓮田登

紅葉の立山散策「来年の夢に」



十月八日午前六時公民館を出発、総勢三十七名、各々に今日の体力づくりレクリエーションを楽しみに想いながら、車窓からの風景を見たり、久しぶりの出会いで話もはずんでいる。七時近く立山アルペン村で休息。電光掲示板に登山道通行止めの文字、それでもと幾台ものバスが立山駅へ……。

駅前まで道路積雪三十五センチで通行止め確認。計画スタップのはからいで金太郎温泉へ。大きな岩風呂を楽しみに一路。我々は二階で休息、食事、大きな岩風呂の色々の岩を眺めながら、また種々の浴槽につきり心身共リラックス。二階への階段は急傾斜で足腰に力が必要であった。（山本幸雄）

第8回南山見地区

スーパーキックベースボール大会

10月10日(火)～12日(木)までスーパーキックベースボール大会が開催されました。天候にも恵まれて各町内より7チームの参加がありました。家族や町内の方々の応援もあり賑やかで楽しい大会となりました。

成績は次の通りです。

- 優勝 院瀬見第4チーム
- 次勝 清玄寺チーム
- 参勝 院瀬見第2チーム





毎年恒例の「新年の集い」が今年も一月四日に開催されました。当日は来賓として清都南砺市助役、山本綿貫後援会長、才川南砺市議会議員、そしてご多忙と聞いていた綿貫代議士ご本人の突然のご来館をいただき、祝宴が始まりました。

初めて国民新党党主としてご出席いただいた綿貫代議士は、ご挨拶された後、自慢の喉で北島三郎の演歌を披露下さったり、各テーブルごとの記念写真にも気さくに参加されたりで、和気あいあいの中親睦を深め、楽しいひとときとなりました。

これからも綿貫代議士が中央でさらなる活躍される事を願いながら、南砺市そしてこの南山見地区の自然と多彩な文化交流こそ、真の豊かさ、とゆとりをもって暮らせる地域作りの要である事を痛感いたしました。

(山本孝夫)



新年のつと



さつたり、各テーブルごとの記念写真にも気さくに参加されたりで、和気あいあいの中親睦を深め、楽しいひとときとなりました。

これからも綿貫代議士が中央でさらなる活躍される事を願いながら、南砺市そしてこの南山見地区の自然と多彩な文化交流こそ、真の豊かさ、とゆとりをもって暮らせる地域作りの要である事を痛感いたしました。

(山本孝夫)



十二月三日、児童クラブと母親クラブによる花壇づくりとクリスマス会が行なわれました。真紅の帽子に緑のチーフ「花とみどりの少年団」スタイルのかわいらしい子供たちが「花と緑の銀行」の方々と一緒にチューリップの球根を植えました。

子供たちが丁寧に植えたチューリップ球根が、来年の春には南山見の人達にやさしく微笑んでくれることでしょう。クリスマス会では、ジングルベルの曲が流れる中、大

★
★
★
クリスマスと花壇づくり

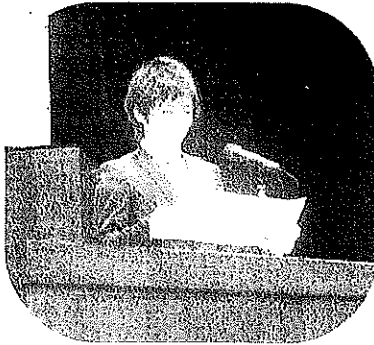


きなツリーに飾り付けをして、ケーキを食べました。六年生のお姉さんが保育園の子供達と遊んでいる姿も見られ、みんなで交流する大切さを改めて感じました。ハラハラドキドキのビンゴゲームも盛り上がり、二人のサンタクロースにプレゼントをもらって楽しい時間を終了しました。役員にとっても子供達のうれしそうな顔を眺められるすばらしい時間でした。

(母親クラブ 武田かおり)

成人をお迎える みなさん

おめでとうございます



井波地域成人式は、一月七日井波総合文化センターにおいて、ご来賓や家族にもご来場いただき、盛会に華やかに開催されました。大雪の昨年とは違い雪もなく比較的好天に恵まれた様に想います。力強い交通安全宣言で成人式を締めくくられ、そのあと成人のみなさんの企画、運営による「成人者の集い」が、当地区の才川緑香さん等の司会で始まりました。田中優一さんが心温まる二



十才の主張を発表されたあと、小学校、中学校の恩師の先生方にもご参加戴き、またスクリーンになつかしい当時の様子が映されてそれぞれの想い出を発表されました。恩師の先生方よりお祝いの言葉をいただき、成人のみなさんも、また家族、会場のみなさんも目頭が熱くなったようで、大変心に残る成人式だったと思います。今年も公民館よりお祝いとしてマナー辞典をお贈りいたしました。(事務局)

新成人の みなさん

院瀬見二区

田中 優一

松田 充晴

蓮田 絵美

院瀬見三区

吉田由香里

長田 幸恵

院瀬見四区

山崎 優貴

山本 達裕

東城寺

林 絵梨子

志観寺

松井 拓人

谷

山本真理子

戸板

奥野 由紀

今里

岩崎 純衣

川原崎

川原 薫

沖

才川 緑香

澤田 剛史

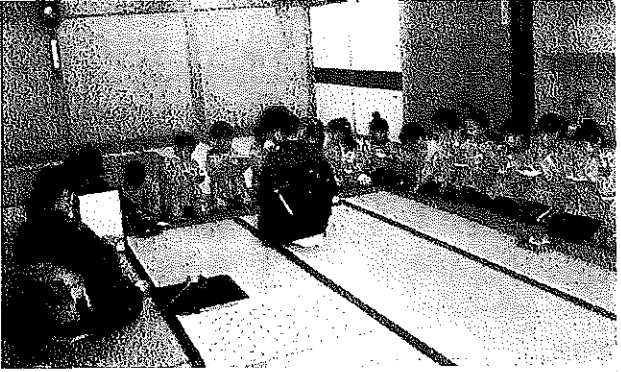


はじめての 初釜

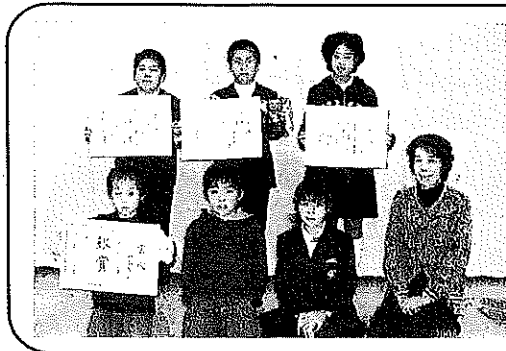


一月十一日に保育園児の「初釜」が公民館で開催されました。

年中・年長児が、地域の高齢者から「茶道」を月一度教えてもらいます。年中児は習い始めて数カ月なので、まだまだ未熟です。年長児は、昨年から経験を生かし、お茶の点て方、お茶やお菓子の運び方等の動作について、一人一人丁寧に言葉がけしてもらい順序よく動作をこなしていました。そして「お点前頂戴いたします」「お先に」「お下げ致します」等、言葉を変えながら目新しい茶道具が並ぶ中、子ども達は嬉しさの中にも緊張感を持ち、指導者から



の優しいみなさしを受けて取り組みました。物を大切に扱い、譲り合い、そして感謝の気持ちを持ち、人に対して心配りが出来る「心のゆとり」こそこれからの原動力となっていくのではと期待しています。また、公民館や体育館などを利用させていただき、地域の方々に見守られながら子ども達は日々成長していきます。今回の「初釜」は高級な茶道具の釜や火箸、炭そして水差しや小さな屏風、掛け軸等、全てが物珍しく子ども達の目は輝き、指導者の仕種に目を留めながら躍動したひとときでした。(南山見保育園)



平成十八年十一月二十五、二十六日に金沢市において現代学生読書大会が開催され、少年研修館書道教室からも出品致しました。

成績は次のとおりです。

富山県知事賞
六年 篠原 天馬さん
書学会賞
三年 篠原 風斗さん
特待生出品
六年 横江 千夏さん

おめでとうございます
ーげいいます



去る12月24日、南山見地区へ南砺市より「地域ぐるみ除排雪活動除雪機械等整備事業」として、小型除雪機械が導入されました。補助の必要な老人、障害者等の世帯から要請があった場合の除雪支援や、道路や公民館等地域住民と密接な関係がある施設の除排雪等に使用されることを主旨としています。尚、ご利用に当っては町内会長又は管理責任者（自治振興会長）へお問合わせ下さい。（南山見自治振興会）

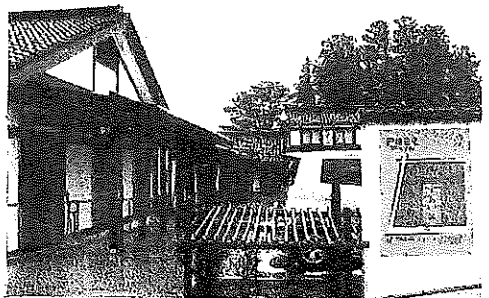
南山見地区へ 小型除雪機械



住宅再生マスタープランに基づき国の補助を受けて建替えを進められた「南砺市戸板住宅」が11月1日に完成いたしました。木造平屋建、木造

2階建、オール電化住宅となっています。現在、南山見新の町内は23戸となり久し振りに当地区の人口、戸数共に増え喜ばしいことです。（事務局）

完成 戸板住宅



「なんどの森」 植樹祭

五箇山合掌の里周辺に於いて「なんどの森」植樹祭が十月七日（土）に開催されました。当地区の「井波花とみどりの少年団」も参加致しました。森林や緑を増やし、守り育て次世代に引き継いでいくことは我々の大きな責務であるといさつがありました。

生憎、朝から雨、風も強く、植樹作業も大変でしたが、コナラ、ブナ、ヤブツバキ等の苗を慣れないクワを使って一本一本丁寧に植えていました。（児童クラブ）

お知らせ

2月16日（金）午後7時30分より
平成18年度 公民講座

大連市富山県事務所長
講師 倉嶋清吾氏

2月25日（日）午前9時より
第18回
南山見地区三世代交流の集い

ご寄付

一金 参万円也

南山見婦人会様
ありがとうございました

南山見人口

男	589人
女	606人
計	1,195人

平成18年12月31日現在



毎日の日課である愛犬の散歩も、冬になるとおっくうになりがちである。雄大な八乙女山に向かつて歩くうちに、身体もポカポカ暖かくなってくる。又、冬に鼻唄を歌うと風邪をひきにくくなるそうなので、健康の為に鼻唄を歌いながらの散歩はもってこいである。沖から高瀬あたりまでの散居村のながめの良さ、そして朝もやに見え隠れする山並みの濃淡は、幻想的でまるで墨絵の世界であり、すがすがしい限りである。

自然がいつぱいの南山見地区で、四季折々に移り変わる景色を眺められることを幸せに思いながら、今日も愛犬と散歩に出かけます。

（自然を愛するS）